

公の施設の見直しについて － 個別施設ごとの見直しの方向性 －

行財政構造改革の一環である「公の施設の見直し」については、平成30年3月に策定した「見直しの基本方針」に沿って、これまで地元市町等とも協議し、個別施設ごとに見直しを検討してきたところであるが、現時点における各施設の見直しの方向性を下記のとおり整理の上、引き続き、市町等関係者と十分に協議・調整を行いながら、見直しの具体化をさらに進めていくものとする。

見直しの方向性

1 中間報告で「関係市町とさらに協議するもの」に整理した施設

◆地元市町へ移管（1施設）

・おのだサッカー交流公園

サッカーを通じた交流人口の拡大や地域活性化の推進に向け、地元山陽小野田市による主体的な利活用を可能とするため、令和2年度末を目途に、施設を市へ移管する。

◆継続して見直しを検討（11施設）

下記の施設については、今後も地元市町との協議を継続し、見直しの具体化に向けて検討を進める。

市町名	施設名	見直しの方向性等
下関市	下関武道館 豊田湖ビジターセンター 角島ビジターセンター	市の公共施設等総合管理計画で施設の総量削減を掲げる中、新総合体育館の整備計画を進めているとの事情も考慮しながら、市との協議を継続する。
萩市	萩ウェルネスパーク 須佐湾ビジターセンター	地元利用が多いなど、地域に密着した施設となっていることから、地域振興に資する利活用の観点に立って、市との協議を継続する。

市町名	施設名	見直しの方向性等
柳井市	やまぐちフラワーランド	柳井ウェルネスパークの移管（H24）等により、既に財政負担が相当程度あるとの市の意見や、本県における花き振興拠点、あるいは地域の観光拠点としての機能等を総合的に勘案しながら、市との協議を継続する。
長門市	県民芸術文化ホールながと	「近松門左衛門」の出生伝承をゆかりとした文化活動の展開など、地域との関わりが深い施設であることから、地域振興に資する利活用の観点に立って、市との協議を継続する。
美祢市	秋吉台国際芸術村 秋吉台ビジターセンター 秋吉台青少年自然の家	民間による活用など、市の意向も踏まえながら、幅広く見直しを検討することとし、その具体的な内容等について、市との協議を継続する。
周防大島町	片添ヶ浜海浜公園	隣接する海水浴場や民間ホテルと一体となったリゾート地として、県東部地域の観光スポットとなっていることから、利用者数の一層の増大を目指す観点に立って、町との協議を継続する。

2 中間報告で「県施設として存置するもの」に整理した施設

◆運営手法の見直しを検討（3施設）

・国際総合センター

海峡ゆめタワーの利用者数が減少傾向にあることから、観光資源としての更なる有効活用やネーミングライツの導入による歳入確保、業務の効率化等を検討する。

・スポーツ交流村

温水プールについて、施設の老朽化や近隣市に同様の施設が設置されていること等を踏まえ、今後の運営のあり方を検討する。

・県民文化ホールいわくに

歳入確保を図るため、ネーミングライツの導入を検討する。

◆経費節減・業務効率化等（61施設）

各年度の予算編成等を通じ、引き続き、経費節減や業務の効率化、更なる歳入確保等に努める。

大島防災センター、セミナーパーク、少年消防クラブ会館、やまぐち県民活動支援センター、男女共同参画相談センター、交通安全学習館、動物愛護センター、環境保健センター、萩看護学校、知的障害者更生相談所※、身体障害者更生相談所※、点字図書館、聴覚障害者情報センター、みほり学園、高等産業技術学校（東部、西部）、美術館、萩美術館・浦上記念館、農林総合技術センター※、農業大学校※、水産研究センター、栽培漁業センター（内海、外海、外海第二）、漁港施設（3施設）、亀山公園、室積公園、流域下水道（2施設）、港湾施設（11施設）、工業用水道（11施設）、やまぐち総合教育支援センター、図書館、博物館、文書館、青少年自然の家（油谷、十種ヶ峰、由宇）、埋蔵文化財センター

計61施設

※知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所

相談支援業務の高度化・専門化に対応した機能強化等を図るため、福祉相談機関を統合し、福祉総合相談支援センターを設置（H31～）

※農林総合技術センター、農業大学校

「農林業の知と技の拠点」を形成するため、農林総合技術センター（農業試験場、林業指導センター）と農業大学校を統合予定

3 既に見直しを公表した施設（128施設）

公表時期	施設名	見直しの内容	
H29 H30	維新百年記念公園	運営手法 の見直し	ネーミングライツの導入 ・陸上競技場 ・スポーツ文化センター ・テニス場
H30	身体障害者福祉センター	運営手法 の見直し	指定管理者制度の導入 (H31. 4～)
H30	きらら浜自然観察公園	運営手法 の見直し	ネーミングライツの導入
H30	健康づくりセンター	運営手法 の見直し	健康プラザ（参加体験型学習施設）について、運動指導機能を備えた多目的スペースへ用途変更
H30	母子・父子福祉センター	運営手法 の見直し	施設の老朽化や利用者の利便性等を踏まえ、総合保健会館へ移転（R 3. 4～）
H30 R元	山口きらら博記念公園	運営手法 の見直し	指定管理者制度の導入 (H31. 4～) ネーミングライツの導入 ・多目的ドーム ・水泳プール
R元	山口しごとセンター	運営手法 の見直し	経費節減・業務効率化等
R元	県営住宅等（121施設）	運営手法 の見直し	経費節減・業務効率化等